

《おっさんたちのアイドル》

小池百合子東京都知事

八 面 六 臂



小池百合子都知事にはご主人様に嫉けられた（けしかけられた）飼い犬のイメージがある。しかし、この飼い犬は常にご主人様を変えてゆく性癖を持ち、よしよし！よくやったと、頭を撫ぜ、頬ズリをしてくれないと、すぐに別のご主人様について行ってしまふ。大変にドライであり、イライラして気に障ることがあると、飼い主の手でも足でも見さかなくなつてしまふ。

噛んでしまつてから、おどおどと、上目遣いに様子を伺うのだが「お仕置き」が来る前に逃げ出して次のご主人様を探す。



東京都知事に対して「飼い犬のイメージがある」と大変失礼なことを申し上げたが、彼女の上目遣いの表情が私の飼っていた「愛しのマルチーズ」にそっくりなのだ。

電波怪獣のアシスタント

私たちが小池百合子を認識したのは電波怪獣武村健一氏のアシスタントの



竹村健一の世相講談(1978年、日本テレビ)

自民党では小泉純一郎氏、安倍晋三氏と『おっさん政治家』の間を器用に渡り歩いてきた。

なぜこんなにコロコロと『おっさん政治家』の間を渡り歩くのか？

正解、小池百合子氏は「おっさん政治家たちのアイドル」だったからである。

決して押しかけたわけでもない。アイドルは「引く手数多」なのだ。



チャーミングな若いぴちぴちした女性、その女性が現在の小池百合子都知事とは驚きである。

小池百合子氏の政界でのスタートは日本新党の細川護熙（もりひろ）氏から始まって、新進党、自由党では小沢一郎氏、二階俊博氏、保守党→保守クラブ。



第3次小泉改造内閣



細川護熙氏(左)、小池百合子氏(右)



二階堂俊博氏



しかも、小沢一郎氏、小泉純一郎氏は「アイドル小池百合子」の能力を高く評価し「刺客」として重宝していた。

東京都知事は『桜井パパ』で行きたかった自民党

自民党は「人気グループ・嵐」の「桜井翔」の父親で、「桜井パパ」こと桜井俊・前総務事務次官に「白羽の矢」を立てた。

自民党は「桜井パパ」に立候補を打診。しかし、「桜井パパ」はなかなか首を縦に振らない。

一方の小池百合子氏は割と早い時期から都知事選立候補に手を挙げていて、自民党の公認を待っていた。

ところが自民党は「桜井パパ」を口説いている真最中なので小池百合子氏の公認要請が目に入らない。悪く言えば無視をしていた可能性がある。

つまり、「オアズケ！」状態だったのだ。

自民党は「桜井パパ」がいよいよ都知事選に出る気持ちが全くない事が分かっ

て初めて自民党は他の都知事立候補者を打診し始める。

ここで問題なのは、それなら前から手を挙げている「小池百合子氏で行こう」とはならなかった、ことだ。

自民党は自民党都連会長の石原伸晃氏が「誰かに言われて小池百合子氏に公認を出さなかった」のか、個人的に小池百合子氏が好きでなかったのかは分からない。

『桜井パパ』に断われ、あわてた自民党は都知事候補者選びを始める。

選出されたのは元総務省の大臣で、岩手県知事経験者の増田寛也氏。

増田寛也氏を都知事候補者に決めた。

だが、あわてて決めたせいで彼の著書『地方消失』に「不都合な真実」が書かれていることは調査しなかったらしい。

それを横目で見っていた小池百合子氏は「公認依頼」を取り下げ、自民党員のまま見切り発車で都知事選に立候補宣言をしてしまう。

不思議なのは小池百合子氏が自民党に離党届は出さず、都議会議員選挙の告示



嵐のメンバー 桜井 翔



桜井 俊 前総務事務次官



増田寛也氏

直前まで自民党に在籍したままだった、ことだ。(これが、いろいろな憶測を生む。2016年7月都知事選出馬表明後、自民党に進退伺を提出、自民党に離党届を提出したことを表明したのが6月1日、自民党が離党届を受理したのは都議選結果判明後の7月3日だった。)

自民党本部での 『増田寛也都知事候補 総決起集会』で 「小池百合子東京都知事」が 皮肉にも決定した。

2016年7月26日、増田寛也候補の各種団体総決起集会は東京・永田町の自民党本部で行われた。

元東京都知事の石原慎太郎氏が息子の一大事と駆け付けた。

石原慎太郎氏は「鳥越俊太郎氏」「小

池百合子氏」を厳しく批判。

石原氏は、まずは鳥越氏に対して「売国奴だよ、こいつは!」と斬りつける。

鳥越氏が過去にテレビ番組で、「尖閣諸島に中国が攻めてきたらどうするか」と訊かれて『自衛隊』が出動したら人が死にますね。そんなことだったら尖閣なんか中国にくれてやったらいい」って言いやがった、と猛口撃。

返す刀で「もう1人、大年増の厚化粧がいる。これが困ったもので…、あの人はウソつきだと思います」と衝撃発言。

なんでも、「小池百合子氏が、前回の都知事選の時から石原慎太郎氏の応援を受けていた」と発言している。

「私が彼女に選挙に出ると言った」というが、しかし、「私は全くそんなことを言った覚えはない」。



小池百合子氏は「虚言症で困ったもの」と断じるのだ。

流石に石原慎太郎先生は真っ直ぐ彼女の本質を見抜いている。だから、「**大年増の厚化粧**」がいる、とやらかしたので**小池百合子氏はそれを聞いて「しめしめ、ニターと」笑ったに違いない**。いま考えれば、この瞬間こそが小池百合子東京都知事誕生を決めた。

そうとは知らず、石原慎太郎先生「ここに私の息子がいて、苦勞していますが…」と、長男で自民党都連会長の石原伸晃氏を指さして笑いを取る。

石原伸晃氏は「私は普段、他人の悪口は言わないことにしておりますが、今日は経過を含めて若干、お話しをさせていただかなければならない」と切り出すと、**自民党に造反する形で出馬した小池氏に苦言を呈した**。

小池百合子氏へ 自民党が「追放宣言」のミス

◆「小池氏は私がいないうちに《推薦依頼》を持って来て、またいないときに《推薦依頼書》を引き取って行かれた。わがままだと思います」と非難。

さらに小池百合子氏は「政治とお金の問題でいろいろ書かれております」と裏金疑惑についても触れた。(これは余計だった)

「小池百合子候補は自民党からの推薦届をご自分でお取り下げになられた。その時をもって、そして今日をもって、小池候補は自民党の間ではないと思っています」と、実質的な“追放宣言”までするのである。

偏向マスコミの皆さんが面白がって大報道するに決まっているじゃないか。石原伸晃くん、お前馬鹿なの？少林寺拳法の精神性を学ばなかったのね。

御父上の石原慎太郎先生が「厚化粧の大年増」とやらかしたら、人前だから、まあまあと「なだめる」くらいの器量を持てよ、君は石原慎太郎先生と違って東京生まれの「江戸っ子」だろう。

江戸っ子は「元来、判官ひいき」だということくらい分らないかなあ。だから、女性有権者はこぞって小池百合子候補に投票することになる。



石原伸晃 内閣府特命担当大臣
自民党東京都支部連合会 前会長

しかし、かえすがえす残念なのは、「石原伸晃氏はなぜ一番先に手を挙げている小池百合子氏を自民党公認候補にしなかったのか」コレ、最大の謎です。

《自民党公認小池百合子》なら全然問題はなかった。

これで、「自民党」と「都民ファーストの会」がやりあうことになれば『東京オリンピック』ができなくなる恐れが大きい。(しかし、やりあうことになるのだろうか)

その意味では、安倍晋三総理の配慮が足りない、と言わざるを得ない。

石原伸晃氏に東京都という首都をまかせたのが「運のつき」、という結論にならないければよいが・・・

争点を際立たせて戦うのが「小池百合子のテクニック」

昨年の参議院選挙のすぐ後に始まった東京都知事選挙は『小池百合子都知事候補』の圧倒的勝利だった。

小池百合子氏の都知事選挙は「ピーマンなど緑の野菜を片手に、テレビカメラに向かって支援者の皆さんが支持をあらわしてくれる。選挙カーの周りは支持者の皆さんの緑一色です。」とニターと笑っていた。「小池グリーン』『百合子グリーン』なのだそうだ。

カラーによるイメージ選挙は海外では左翼の皆さんがよく使う手法だ。

グリーン一色に揺れた都知事選だった。

それから約1年 都議会議員選挙である

小池百合子東京都知事が初めて都庁に行ったとき出迎えてくれたのは職員と数人の都議だけだった。小池百合子都知事は都議会の役付き議員の部屋を挨拶して回る。自民党都議会幹事長の内田茂氏は小池百合子東京都知事挨拶に来るタイミングに不在で応えた。都連幹事長として君臨しているのが内田茂氏である。

民主党が急拡大した2009年の都議会議員選挙で多くの自民党都議会議員が落選したのだが、落選したにもかかわらず自民党都連や都議会自民党の役員にとどまった。



内田 茂 元都議会議長
前自民党東京都連幹事長

石原慎太郎知事、石原伸晃都連会長以下、東京都選出（都連）の国会議員は落選した内田氏を都連幹事長から外そうとした。しかし、都議会議員の数が圧倒的に多く、多勢に無勢で国会議員と石原知事は都議会議員の抵抗に内田茂氏を都連幹事長から外せなかった。

その結果、当時内田氏を下ろそうとしていた石原伸晃都連会長と平沢勝栄都連総務会長は、もはや「逆らえない」とあきらめた。

しかし小池百合子都知事の次のターゲットは黒幕でドンの内田茂氏を自民党都議会から追い出し、小池百合子都知事が実権を握ること。方法は簡単だ。内田茂氏の千代田区の選挙で勝つことだ。対抗軸を挟んで相手を悪玉にして攻撃して勝てばよい。ドン内田という抵抗勢力を追放し、東京都の権力を手中におさめるためには支持議員たちを集めなければならない。集められなければ新しく作り出せばよい。「希望の塾」（小池塾）で希望者を集めてトランプ大統領の「アメリカン・ファースト」のフレーズをパクって『都民ファーストの会』（地域政党）を立ち上げ過半数を当選させる。

そのためには公明党と自民党を分断し、『公明党』と『都民ファーストの会』との選挙協力をしなければならない。また、「朝鮮総連」の『生活者ネットワーク』、『日本共産党』（小池繋がり）、落ち目の『民



進党』とも友好的な関係を築く。

小池百合子お姉さまは「グラビア・アイドル並みに写真集」を発行。

ご自分に注目させる手練手管には自信がある。ダテに『大年増の厚化粧』なのではない。話題作りを上手にやって対立軸を挟んで、常に自分は「善玉」、相手は「悪玉」にしてわかりやすい構図を作る。



希望の塾 開塾式
2016年10月30日
1000人収容の会場を4回転した

あとは選挙民の鼻ズラを捕まえてコントロールすれば必ず勝つ。

小池勢「大勝利！！」 自民党は歴史的な惨敗

2017年6月24日（土）告示から7月2日の投票・開票だ。思ったとおり自民党は苦戦に苦戦。

その小池百合子先生『都民ファーストの会』に若い候補者が集まっているのを見て、『おっさん政治はもうダメだ』と言ってしまうのだ。「社会的経験」「人生的経験」のない事を逆手に取った作戦は小気味よい。

自分だって厚化粧をしなければ通用しない「緑のおばさん」であることをサッパ

りと忘れているのね。

「悪玉はおっさん」「善玉は若い」というくくりの対立軸。

それで選挙は勝てる、かもしれないが社会的経験のない人生経験もない都議会議員が大量発生しても東京都の政治がまともにやれるのか？

東京都の予算規模は 世界13番目のスウェーデン、 インドネシアの国家予算並み

東京都は世界に国々と経済的に比較して第13番目～14番目となる年間予算を持っている。国で言えばスウェーデン一国の国家予算に匹敵する13兆円。これは、ほかの府県のおおよそ10倍。東京都は



国の交付金や補助金に依存していないので、都知事はその巨額予算の裁量権が非常に大きい。

職員の数も16万人と飛び抜けて多く、東京都より職員がいるのは、自衛隊のある防衛省だけです。しかも、「都」というのは府県と市の2つの役割を合わせた都市制度なので、そのトップには知事と市長の2つの権限があります。こうした行政組織としての巨大さが、都知事を特別な存在にし、権力を強くしている面があるのです。

国家並みの経済規模

もっとも、都知事の力の強さはそれだけが理由ではありません。都政が巨大であるのに加え、東京都の場合、都市その

ものにも大きな力があります。

東京都は国の税収の4割を集め、株式売上高の約9割、銀行貸出残高の4割、大企業の本社、外国企業の5割を有しています。大学生も4割が東京で勉強しています。その経済規模は、都内総生産が92兆4000億円(2011年度)と、GDPベースで他の国家と比べても世界第14位に相当し、総生産額で韓国を上回ります。金融市場も、東京はニューヨーク、ロンドンと並んで国際的に大きな影響力があります。さらに、政治、行政、経済の中核機能が集中しているうえ、テレビ局、新聞社、出版社、通信社、インターネット企業などの本社機能も集まっているため、全国に向けた情報発信力も非常に強い。こうした点も都知事が注目を集める理由と考えられています。



東京都庁（都議会議事堂）

「小泉チルドレン」「小沢チルドレン」がまともに育たなかったように今回の「小池チルドレン」も何か心配です。

単なる若い「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」で終わってしまわないのか？

東京都民には受けていたようですが、豊洲移転をぎりぎり決めての選挙です。公明党は小池さんが豊洲移転に決めたので「スクラムを組んで共闘できる」と判断したといえます。

小池百合子さんという政治家は小沢一郎、小泉純一郎同様、罪作りの政治家です。



豊洲市場

特に小池百合子さんは議会に諮らず、独断と偏見や一存でものを決定してしまいます。

小池百合子都知事は「安全」なのに「安心」じゃないと豊洲移転を延期、1年間で125億円の損害金はだれが払うのか

豊洲市場は専門家の先生たちが「安全です」といっているのに「安全であっても安心はできない」とわけのわからないことを言って移転を引き延ばす。そのお手伝いをしたのは日本共産党、民進党の都議会議員先生たち。自分の給料をカットまでしてパフォーマンスしてもズルズルと一年近く引きずった責任をシカとす

る『緑のおばさん』。あなたの金銭感覚はどうなっているの？1日引き延ばすと3400万円が無駄になる。昨年の11月には豊洲に市場移転できたはずなのにすでに8か月の無駄使い、一月を30日として3400万円×30日は約10億円×8か月で81億円以上。小池百合子都知事の移転引き延ばしはとてつもない損害を与えている。

小池百合子氏がいくらお金持ちでも東京都民や市場関係者、仲卸業者が設備や二つの市場に備えて投下した資金は、原因を作った小池百合子氏が議会に諮らず、独断と偏見や一存でものを決定しているのですから、当然損害賠償の訴訟が仲卸業者からおこされるでしょう。

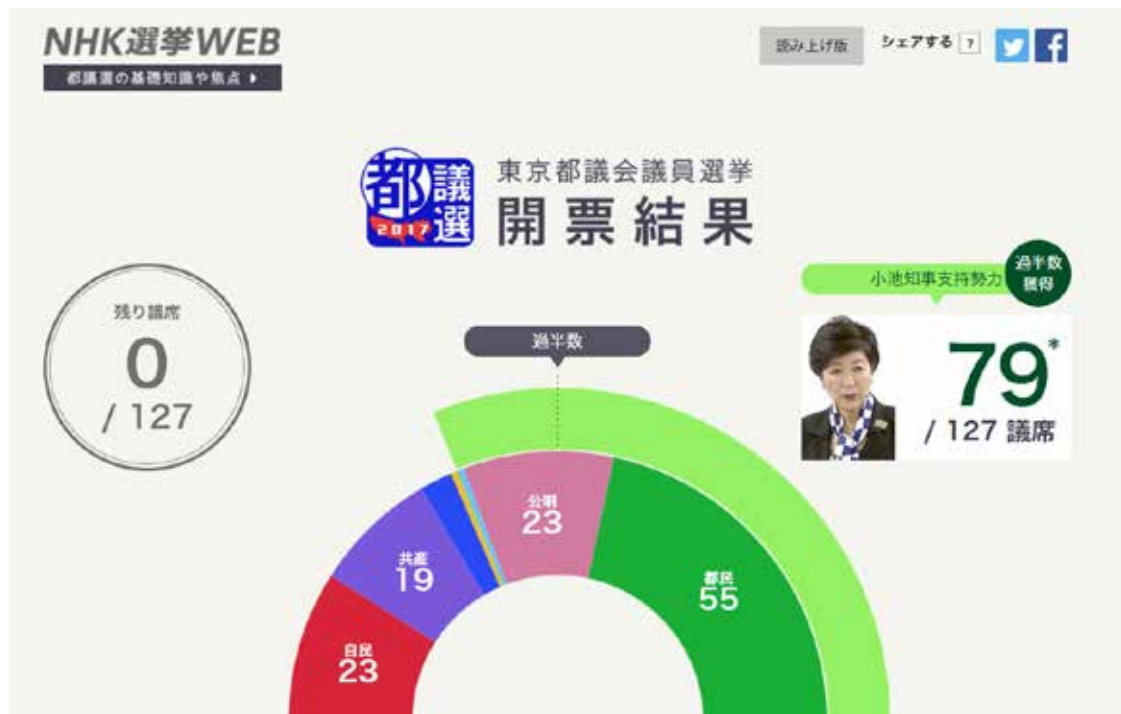
その時に「緑のおばさん政治家」の顔

色は「緑でしょうか」それとも信号機同様「青」なのでしょうか、興味の尽きないところです。

「自民党」「民進党」を喰った「都民ファーストの会」

経済学者高橋洋一氏は7月2日に行われた《東京都議選は「小池新党」の「都民ファーストの会」の圧勝だった》と感想を述べた。

「都民ファーストの会」は選挙前勢力の5議席からほぼ10倍の49議席を取った。「都民ファーストの会」と選挙協力を行った「公明党」は選挙前23議席と同じ23議席を取った。「自民党」は選挙前の57議席を大幅に減らし「公明党」と同



じ23議席までに激減した。激減といえば「民進党」は選挙前の18議席から5議席。「共産党」は選挙前が17議席だったものが少し増えて19議席である。

「都民ファーストの会」の大躍進は「自民党」と「民進党」を喰った結果だ。

東京都議選は1人区（小選挙区）と2～8人区（大選挙区）の並立制で行われる。1人選挙区は以下の7選挙区。

千代田区選挙区
中央区選挙区
武蔵野選挙区
青梅市選挙区
昭島市選挙区
小金井市選挙区
島部選挙区

この7選挙区のうち自民党は三宅正彦さんのみ。6選挙区は「都民ファーストの会」が占めた。

一人区の結果を見ただけでも東京都が悲惨な有様であることがわかる。

なぜなら、改選前57議席を持っていた与党自民党は2～8人区（大選挙区）で複数の候補者を出している。一人なら充分当選する可能性があるものと同じ選

挙区で2人、3人と出せば票は各候補に分散され当選するはずが落選する候補も増えてしまう。心配したとおり、自民党は地滑り的なベタ負けだった。

何度も言うようだが57議席が23議席の激減だ。

この責任は下村博文氏にあるのではない。

安倍晋三首相にもほとんど責任はない。「厚化粧の大年増」を自民党から追放した奴が悪いのだ。

「野に虎を放つ」を実行した者がいて、小池百合子都知事が豊洲問題で元東京都知事石原慎太郎氏の都議会での証人喚問という「謎かけ」を無視し、放っておくものだから、こじれにこじれ、都議会議員選挙で自民党が大敗北するのである。事実、雪崩をうったように自民党は敗北したではないか。

しかし、自民党には知恵者がいないはずもない。

例えば、飯島勲内閣参与なら分かりそうなもの。



飯島勲内閣参与



小池百合子氏は選挙告示日直前まで自民党の党籍を抜かないでいたではないか。その「サイン」に気が付かないようでは安倍晋三内閣の先が思いやられる。

マス塵(ゴミ)は「反」安倍晋三、「反」自民党。

加計学園はマスゴミが騒いでいるだけで違法性はない。稲田朋美防衛相は都議選の公認候補の応援演説で「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてもお願いしたい」とやってしまい、これは違法だ、勇み足。

自衛隊の政治利用と受け取られる可能性がある。

◆最もインパクトがあったのは**豊田真由子**議員が「このハゲー!」「ちがうだろー」と絶叫する音声。(これは効いたね。)

当の豊田議員は離党届を出して「心身症」で入院中。

都議会議員選挙とはいえ、「反安倍政権」「反自民党」の足を引っ張るアクシデ

ントの連発。マイナスの歯車はいったん回りだしたらなかなか止まらないものだ。

いくら逆風でも57議席→23議席はありえない

「都民ファーストの会」は、なぜ勝てたのか?「都民ファーストの会」は新興の団体で当然、議会経験も経験も実績もない。政策だって練りに練ったものではないから。

最近、小池百合子都知事は「私は≪日本の女マクロン≫よ」とニター(笑)。**議会経験者が極端に少ない政党**(この部分は確かに共通している)。

地域政党であっても議会制民主主義の日本、議会で決めなければならない事案は目白押しだ。東京都民は何ともお気楽な輩が増えたもの。いずれ議会運営で後悔するはずである。

ところで「都民ファーストの会」は近いうちに国政団体に鞍替えする。なぜなら、「日本維新の会」が「小池さんのとこ



稲田朋美防衛相



豊田真由子 衆議院議員



マクロン フランス大統領

ろへ行く」といって来た渡辺喜美副代表を除名したからです。民進党を離党した長島昭久衆議院議員も参入、若狭勝衆院議と合わせてこれで3人、あと2人国会議員が揃って5人になれば国政政党としての基本要件を満たす。

それでは東京都民が心を動かされ、投票した動機はどこにあるのか？

●小池百合子さんの魅力が挙げられる。

「大阪維新の会」が橋下徹氏の人気に支えられている、のと似ている。

ワイズは「ポスト舛添」は「橋下徹」と思っていたが、さすがに大阪の次は東京都知事というのは彼の疲労蓄積を加速しそうだ。

おそらく小池百合子氏もそう思ったはずで、橋下氏にいろいろアドバイスを受けたようなのだ。だいたい、小池百合子氏も橋下徹氏も対立軸を作って騒ぎを起こし、耳目を集めて有権者をコントロール

する、という手法がよく似ている。同じ穴の貉（むじな）が2匹。

石原慎太郎先生が橋下徹氏にエールを送り、まるで親子のように打ち解けていた時期があった。その石原慎太郎先生、小池百合子氏による豊洲を東京ガスから買い取る経緯を聞きたいとの「参考人招致」を仕掛けられたことに随分と嫌な思いをされたに違いない。

「女はコワイ」。「厚化粧の大年増」と非難された「恨みを晴らさん」と大先輩の石原慎太郎先生まで苦衷に立たせる。ましてその目的は都議会のドン、千代田区の内田幹事長追い落としと「自民党の人間とは思わない」と事実上の追放宣言をした石原伸晃氏への意趣返しを兼ね、石原慎太郎元都知事を犯罪人のように参考人招致で喚問しようというのだから石原慎太郎先生の腹の中は煮えたぎるほどの屈辱であったに違いない。



都議会百条委員会で証人喚問に応じた石原慎太郎元都知事